平成27年度第2回大阪府立図書館指定管理者評価委員会議事要旨

１　日時　　平成28年1月28日（木）14時～16時

２　場所　　大阪府立中央図書館　2階多目的室　（東大阪市荒本北１－２－１）

３　議題　　平成27年度指定管理者の業務状況の評価について

４　主な意見等

≪Ⅰ提案の履行状況に関する項目≫

（委　員）（１）の定例会の実施は、プロセス的な部分であって、重要なのは中で何が話し合われて、情報が共有されたかというところであるが、ここに記載の情報からは把握しがたい。

（委員長）補強するような、何か具体例を出してほしい。

（委　員）（２）について、障がい者や高齢者などアクセスが制限されている人たちにも、等しくアクセスできるような施設運営は評価に値するところであるが、なぜ「Å」ではないのか。

（事務局）バリアフリーの施設であるため、利用者からもっと高いサービスが求められており、障害者差別解消法との兼ね合いを含めて、「Å」に近い「Ｂ」とした。

（委　員）もう少し評価が高くてもよかったのではないか。

（委　員）入館者数にホールの入場者数が入っていないとのことだが、図書館のイベントと連動した展示もあるので、当然図書館の入館者としてカウントすべきではないか。

（事務局）これまで、入館者とホールの参加者は、別々に統計を取って「図書館要覧」で公表してきた。

　　　　　カウント方法を変更して入館者数にホール参加者数を入れることにすると、統計上混乱するのではないか考え、現在は別にしている。

（委　員）大会議室の利用率だけが落ちている理由は何か。

（事務局）今年度から中会議室を新たに設けたので、これまで大会議室を利用してきた人が中会議室を利用するようになった。また、昨年度まで図書館等では主に大会議室を使用していたが

　　　　　今年度から設置の多目的室を利用しているため、利用率が落ちていると考えられる。

（委　員）総合評価はこれでいいが、この評価に至るまでのプロセスがわからない。

（委　員）駐車場については、利用率は増だが、収入は減となっているが、図書館の利用という観点

　　　　　から見るのか、単に収支で見るのかで評価が違う。図書館の駐車場として評価しているのか、

　　　　　単なる駐車場として評価しているのか、そのあたりはどうなのか。

（事務局）駐車場は、図書館の駐車場としての評価をしているため、図書館利用者が増えたことは、

　　　　　大きな評価ができる点である。

（委　員）項目によって、サービス向上に軸足を置くのか、収入に軸足を置くのかということを、上

手に設定してほしい。儲けが少ないとかだけで評価が下がることはよくないと考える。また、

　　　　　駐車場の稼働率についても次年度以降に設定してほしい。

≪Ⅱさらなるサービスの向上に関する項目≫

（委　員）Ⅱ－１の利用者満足度調査は、書かれる方が固定化していく場合が多い。ネット上のアンケートを実施している図書館もある。工夫があれば今後聞かせてほしい。

（委　員）満足度調査を実施されていないのであれば、「Ｃ」になるのではないか。

（事務局）このまま実施されていない場合は、「Ｃ」に修正する。

≪その他≫

（委　員）全体的な意見だが、次年度から評価をされるにあたっては、どこの点がどのようにクリア

　　　　　できればこのような評価になるという、さらなる内部での評価基準のようなものは持っておくべき。

（委　員）直営の業務と指定管理者の業務があるなかで、総合的なとりくみとしてまとめて評価をしていかないと、第3者的に見たときに不自然。

（委　員）この評価票は、1年ごとの業績の評価だが、最後の期間で成果が上がることについては長

　　　　　いスパンで評価していただきたい。

　　　　　また、Ⅲ－（２）について、ここの部分が「Ａ」になっていかないと、指定管理者としての

　　　　　力が発揮できないのではないか。5年先とか3年先に大きな協力体制ができるような評価をしてほしい。